

『音楽が見える! in 新百合ヶ丘』

音楽はむずかしい、ことにクアルテットなんて・・・と置いていらっしやいませんか?

たしかに聴いてすぐに「なるほど、納得」とはいかないかもしれませんが。しかし古典四重奏団のレクチャーなら大丈夫、生演奏を聴きながらの解説ですから楽譜など読めなくても充分にお楽しみいただけます。

前半は実演を伴いながらのレクチャー、後半は迫力満点の演奏をお聴き頂きます。これならどなたにも『音楽が見える!』

第17回公演 2014年5月10日(土)14:00開演(13:15開場) 昭和音楽大学ユリホール

《ベートーヴェンという旋風～作品18の煌めき》その1

様式の創始者ハイドン、美の探求者モーツァルト、これらの天才達を超えていくためには、ベートーヴェンは何をしなければならなかったのでしょうか。自分自身で時代を切り開き、新しい言語を造り上げ、自分の内面を掘り下げる作業によって、それまで誰も成し得なかった芸術の姿を生み出したのです。作品18の6つの四重奏曲を通して、その確かな着眼点と個性的なアプローチを見てみましょう。今回は、簡潔なフォームを持つ第1番と、明快な響きの第2番です。

古典四重奏団 プロフィール

1986年東京藝術大学及び同大学院卒業生により結成。レパートリーは80数曲にのぼり、そのすべてを暗譜で演奏。研ぎ澄まされた集中力と温かく透明なハーモニーを持ち、作品へのアプローチは極めて独創的である。全員がピリオド楽器の演奏もするが、古典四重奏団では通常のリコーンを使用。現在「SQWシリーズ」「音楽が見える! in 新百合ヶ丘」「ハイドンの部屋」「ムズカシイはおもしろい!」「ショスタコーヴィチの自画像」の5つの定期演奏会を継続中、レクチャーコンサートも多数開催している。1996年、ニューヨークの鬼オスティーヴ・ライヒと日本人として初めて「ディファレント・トレインズ」を共演、99年ダンスカンパニー「ノマド〜s」との共演でギリシア公演、05年ドイツ公演。これまでに、ベートーヴェン後期(全4枚)、バッハ『フーガの技法』、シューベルト『死と乙女』、モーツァルト『ハイドンセット』(全3枚)、バルトーク全6曲(2枚組+解説CD)リリース。村松賞、文化庁芸術祭大賞、同優秀賞、東燃ゼネラル音楽賞(旧モービル音楽賞)奨励賞を各受賞。

有田栄 [音楽学] ARITA Sakaë

東京藝術大学音楽学部楽理科、同大学院音楽研究科修士課程を経て、同博士後期課程修了。博士(音楽学)。専門は、西洋音楽史のほか現代の音楽・音楽美学。西洋芸術音楽における声の伝統、および現代の声の音楽をテーマに研究。他方で執筆やTV・ラジオ音楽番組に出演、様々なジャンルの音楽の紹介につとめている。昭和音楽大学教授。



「古典倶楽部」のご案内

「古典倶楽部」は古典四重奏団のファンクラブです。

会費は2015年12月までで2,000円。チケットの割引などの特典があります。

詳細・お申し込みは、**古典四重奏団HP**にてご案内しております。

古典四重奏団HP <http://www.gregorio.jp/qc/>

【本公演の古典倶楽部会員割引】

お申し込みは古典倶楽部HPで。**チケットのご購入前に入会が必要です。**

◆一般/2,200円 ◆ペア券/4,000円 ◆学生/1,200円

【チケット販売・お問い合わせ】 弦楽四重奏を楽しむ会 事務局

TEL/FAX 044-955-0206 (担当: 向山)

E mail : asaomidori2011.0928@gmail.com

あさおみどりのHP 「あさおみどりのコンサート」で検索!!

古典四重奏団 FAX お申込 044-955-0206

2014年5月10日(土)

◆お名前

◆古典倶楽部会員ですか? () Yes () No

◆ご住所 〒

◆E mail

◆TEL

◆FAX

◆一般券 2,500円

枚

◆ペア 4,500円

組

◆学生 1,500円

枚